

第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯

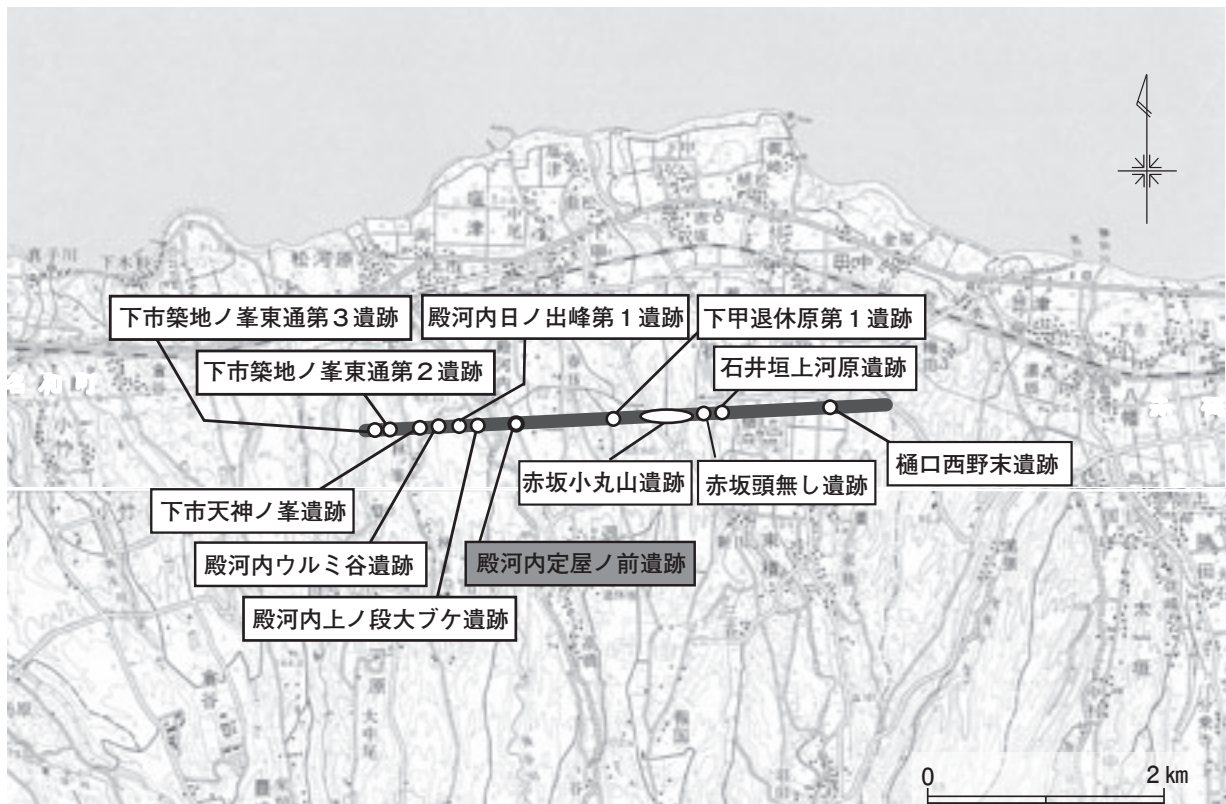
本調査は、平成22年度及び平成23年度一般国道9号中山名和道路の改築に伴い行った、西伯郡大山町殿河内地内の工事予定地内に所在する、周知の埋蔵文化財包蔵地(以下遺跡)である殿河内定屋ノ前遺跡の発掘調査である。

山陰地方では、国道9号線の交通混雑緩和、荒天時の交通障害解消、災害時の緊急輸送の代替道路確保及び将来の国土幹線道路整備として、山陰自動車道の整備事業が進められ、鳥取県西部地域では、米子道路、名和淀江道路が自動車専用道路として一部供用されている。

このうち、大山町を通る中山名和道路の計画地内及び隣接地には、多数の遺跡があり、建設に先立って計画地内の遺跡の有無・範囲・性格・内容等を確認する必要性が生じた。このため、平成19年度から大山町教育委員会によって、国庫補助事業として逐次試掘調査が行われた。また、平成21年度からは、鳥取県埋蔵文化財センターも確認調査を行うこととなり、樋口西野末遺跡他11遺跡、平成22年度は、下甲退休原第1遺跡、殿河内日ノ出峰第1遺跡、殿河内日ノ出峰第2遺跡、石井垣上河原遺跡、赤坂頭無し遺跡、赤坂小丸山遺跡の確認調査を行った。

これらの結果を受け、文化財保護法に基づく手続きを踏まえ、平成21年度から鳥取県埋蔵文化財センターが調査主体となり、樋口西野末遺跡の一部及び下市天神ノ峯遺跡の本発掘調査を実施し、報告書が刊行された。

平成22年度は、殿河内定屋ノ前遺跡、下市築地ノ峯東通第2遺跡、下市築地ノ峯東通第3遺跡が本調査の対象となった。殿河内日ノ出峰第1遺跡では、確認調査で土坑が検出され、この部分のみを本調査の対象とした。



第1図 中山名和道路関係遺跡位置図

第1章 調査の経緯

平成23年度は、殿河内定屋ノ前遺跡の他、樋口西野末遺跡、石井垣上河原遺跡、赤坂頭無し遺跡、赤坂小丸山遺跡、殿河内上ノ段大ブケ遺跡が本調査の対象となった。

【参考文献】

大山町教育委員会1990『大山町内遺跡発掘調査報告書 安原所在遺跡・平第2遺跡』大山町埋蔵文化財調査報告書10
鳥取県埋蔵文化財センター 2011『樋口西野末遺跡 下市天神ノ峯遺跡』鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書37

第2節 調査の方法と経過

1 調査区の名称と調査方法(第2・3図)

殿河内定屋ノ前遺跡の調査前の状況は、畑地、果樹園及び道路である。平成22年度は、調査に先立ち便宜的に調査区を1区から4区に区分けし、調査に着手した。重機で表土剥ぎを行った後、世界測地系公共座標第V系に載るように調査区内に10m方眼の測量基準杭を設定し、グリッドを設けた。グリッド名は、東西南北軸交点の北東杭名を採った。座標は、B6杭(X:-54270m、Y:-69570m)、G19杭(X:-54320m、Y:-69700m)などとなった。標高値は、国土交通省2級基準点H19-2-7の54.339mを使用した。

平成23年度は、工事用道路部分が追加になり5区として新たに調査区に加えた。重機表土剥ぎ後、世界測地系公共座標第V系に載るように調査区内に10m方眼の基準杭を設定し、前年度に倣ってグリッドを設けた。座標は、J4杭(X:-54350m、Y:-69550m)、C9杭(X:-54280m、Y:-69600m)などとなった。標高値は、国土交通省3級基準点H19-3-7の56.981mを使用した。

検出した遺構・遺物の記録には、光波トランシット及び自動レベルを用い、光波トランシットによる座標測量を行った。現地での写真撮影は35mm判、ブローニー(6×7)判カメラにより、地上又は写真用足場上から行った。また、調査前状況及び調査後状況写真については、ラジコンヘリコプターからの空中写真撮影(ブローニー判カメラ使用)も併せて行った。遺物写真撮影は、ブローニー(6×7)判及び4×5判カメラを用いた。いずれも白黒ネガフィルム並びにカラーポジフィルムを使用し、適宜デジタルカメラも使用した。

2 調査の経過

平成22年度調査は、まず4月1日から4月9日まで調査前地形測量、4月19日から方眼測量を業者委託し、4月8日に調査前航空写真撮影、4月12日から4月16日にかけて1・2・4区で重機による表土剥ぎ作業を行った。4月28日には発掘作業員オリエンテーションを行い、検出作業を開始した。その後、3区の重機表土剥ぎ作業を9月6日から9月14日にかけてと、1区内の駐車場進入路部分の重機による表土剥ぎを10月1日に行った。調査後航空写真撮影は、9月14日と12月14日に行った。

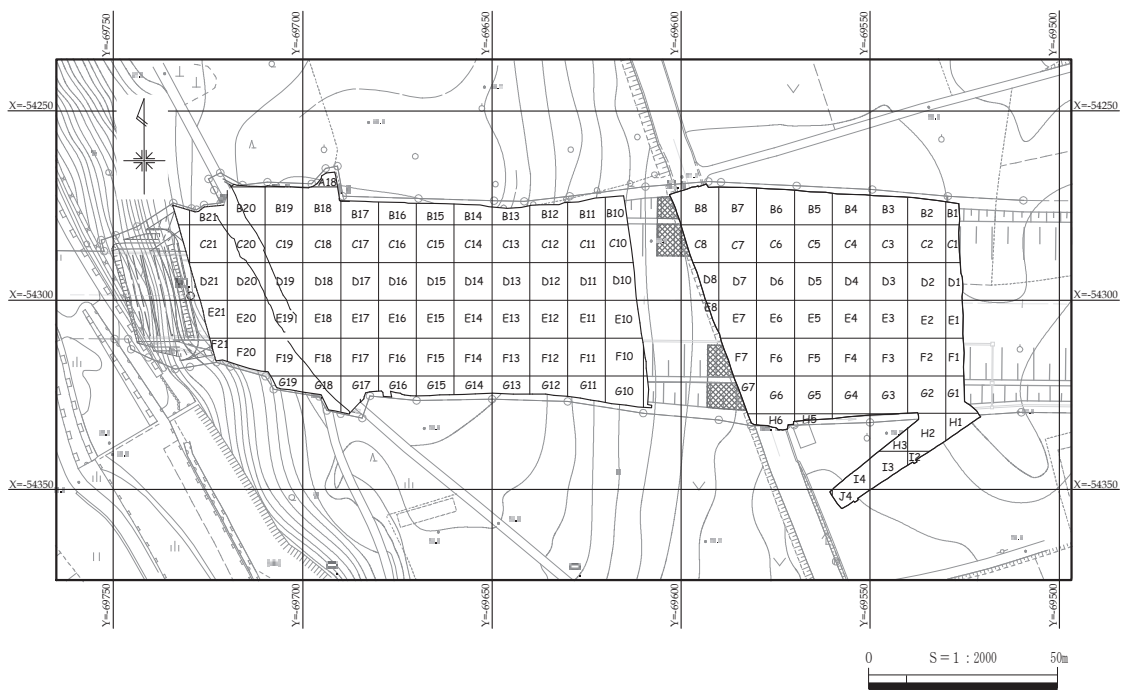
遺構検出及び掘下げ作業は、12月15日まで行った。排土は用地内に仮置きし、必要に応じて国土交通省が場外搬出を行った。途中10月23日には、現地説明会を開催したところ、県内外から100名の方々に参加いただいた。その後調査後地形測量は、12月6日から業者委託するとともに遺構実測補足作業を行い、12月16日にすべての作業を終了した。

調査の結果、縄文時代の落とし穴19、弥生時代中期の竪穴建物跡11、掘立柱建物跡12、土坑20、段状遺構1、溝4、柵列3、奈良時代の道4、土坑1、近世以降の道1、石列1、時期不明の溝1、土坑7などを検出した。

調査面積は、当初10,617㎡であったが、1区と2・3区間の道路部分の調査が平成22年度では困難



第2図 調査区位置図



第3図 殿河内定屋ノ前遺跡区割り図

第1章 調査の経緯

となったことから、10,076㎡に変更となった。

平成23年度調査は、まず8月19日・8月23日に5区及び1区道路下部分南側、9月6日に1区道路下北側部分を重機を用いた表土剥ぎ作業を行い、8月24日から検出作業を開始し、9月27日に測量作業及び完掘状況写真撮影を行い、9月30日に機材の撤収を行いすべての作業を終了した。

調査の結果、弥生時代中期の掘立柱建物跡3、時期不明の土坑1などを検出した。調査面積は、855㎡となった。

第3節 調査体制

下記の体制で発掘調査、報告書作成を行った。

平成22年度

鳥取県埋蔵文化財センター

所 長	久保 穰二郎
次 長	中尾 淳一（兼総務係長）
総 務 係	
副 主 幹	福島 良
主 事	楠原 真衣
事務職員	大丸 真紀、岡村 好美

発掘事業室

室 長	山根 雅美(兼調整係長)
調 整 係	
発掘調査員	岩垣 命
事務職員	太田垣 聡美(4月～5月)、高橋 恵美子(6月～10月)
調査担当(琴浦調査事務所)	
副 主 幹	牧本 哲雄(統括責任者兼調査担当責任者)
文化財主事	岡田 裕之、関広 尚世(12月退職)
派遣発掘調査員	大谷 裕司、野津 旭
事務職員	山根 美穂

平成23年度

鳥取県埋蔵文化財センター

所 長	久保 穰二郎
次 長	中尾 淳一（兼総務係長）
総 務 係	
副 主 幹	白岩 準市
主 事	楠原 真衣
事務職員	大丸 真紀、岡村 好美

発掘事業室

室 長	山根 雅美(兼調整係長)
調 整 係	

発掘調査員 岩垣 命
 調査担当(琴浦調査事務所)
 副主幹 牧本 哲雄(統括責任者兼調査担当責任者)
 文化財主事 家塚 英詞、原田 克美
 派遣発掘調査員 折井 敦、松田 重治
 事務職員 犬塚 義人、小塩 真生

調査日誌抄

平成22年度

4月1日	地形測量(～9日)	7月20日	SI1・2平面実測終了。SI5・7完掘。SI9検出。
4月8日	調査前航空写真撮影		SK5完掘写真・平面実測終了。SK20完掘。
4月12日	重機による表土剥ぎ作業(～16日)	8月9日	1区西側完掘写真。SI9炭化材取り上げ。SK30土層断面実測。SK31土層断面写真。SB2・3平面実測終了。SD3完掘写真。
4月28日	発掘作業員説明会。作業開始	9月6日	SI9・10完掘写真・平面実測。SK31・SK28平面実測終了。3区重機表土剥ぎ(～9月14日)
5月28日	SI3完掘写真。SI2・SB1・SK3検出写真。SX1～4検出写真。SX1・2土層断面写真	9月14日	航空写真撮影
6月11日	SI2・SK3掘り下げ。SK11土層断面実測。SK9土層断面写真。SI4床面で管玉出土。	10月1日	1区進入路部分重機表土剥ぎ作業。SK35検出写真。SK34完掘写真・平面実測終了。
6月14日	SI1・2掘り下げ。SK3完掘。SI4掘り下げ。4区黒褐色土除去中分銅形土製品出土。	10月23日	現地説明会開催。100名参加。
6月24日	SI2・7掘り下げ。SI8検出。SI1土層断面写真。SI5・6掘り下げ状況写真。SK19掘り下げ状況写真。SK17掘り下げ。	11月30日	SD4完掘。SK47・48平面実測終了。SS1・SA1・SK38完掘。
7月8日	SI1完掘写真。SI4完掘写真。SK20掘り下げ状況写真・土層断面実測。土器溜り1実測終了。	12月14日	調査後航空写真撮影
		12月15日	発掘道具運搬。作業員稼働終了。
		12月16日	遺構補足実測終了。すべての現地作業終了。

平成23年度

8月19日	5区及び1区道路下重機表土剥ぎ作業(～20日)	9月6日	SB13・14完掘状況写真撮影。SI3床面検出作業。1区道路下北側部分重機表土剥ぎ終了。
8月24日	発掘用具運搬。ベルトコンベヤー設置。5区検出作業開始。	9月8日	5区完掘写真撮影。SI3土層断面写真撮影・実測。
8月30日	SB13検出。ピット半掘り下げ。SI3検出作業。	9月27日	1区道路下部分完掘写真撮影。SI3完掘写真撮影。1区道路下部分地形測量終了。
8月31日	SB13・14検出掘り下げ状況写真撮影。土層断面実測。	9月30日	発掘機材返却。すべての作業終了
9月2日	台風接近。		

第1章 調査の経緯



文中写真1 平成23年度重機表土剥ぎ作業(1)



文中写真2 平成23年度重機表土剥ぎ作業(2)



文中写真3 平成22年度1区作業風景(1)



文中写真4 平成22年度4区作業風景(1)